

※施工前に必ず、本紙及び別紙の安全上のご注意をよくお読みの上、正しく施工して下さい。

**本製品の電気配線は電気工事専門業者・有資格者にご依頼ください。**

- ・取付前にCD管を使用した電気工事が必要となります。外壁の工事の前にご依頼ください。
- ・本製品は発光ダイオードを使用し、100V直結仕様となっております。
- ・施工前に必ず点灯確認を行ってから施工し、施工後は点灯確認をし引き渡しを行って下さい。
- ・照明用配線にはVVFφ1.6またはφ2.0の3芯単線（アース線を含む）を準備して下さい。

本製品は水たまりができない（水はけのよい）場所に設置して下さい。  
雨水等が入り込みますと、漏電の原因となります。

※施工業者様 施工が完了致しましたら、本書を施主様にお渡しください。

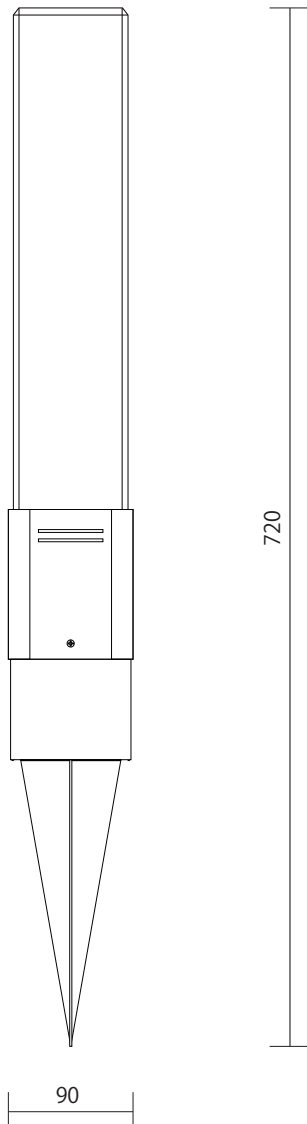
**■ 施工上の注意事項**

⊘ ……禁止をあらわします    ⚠ ……必ず実行をあらわします

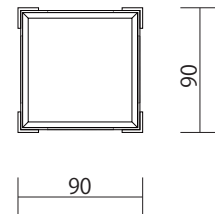
- ⚠ 結線部は必ず自己融着テープ等で巻いて防水・絶縁処理を行って下さい。
- ⚠ 他の器具とは並列でつないで下さい。（LED球／0.48W）
- ⚠ 必ずAC100Vで設置頂きますようお願い致します。 → 過電圧を加えると火災の原因となります。
- ⚠ 本品は水たまりがない（水はけの良い）場所に設置して下さい。 → 雨水などが入り込み、漏電の原因となります。
- ⊘ 調光器・ホタルスイッチと組み合わせて使用しないで下さい。 → 故障の原因となります
- ⊘ 器具を改造したり仕様以外の部品交換は行わないで下さい。 → 火災・感電により事故につながる恐れがあります。

〈寸法図〉

（正面図）

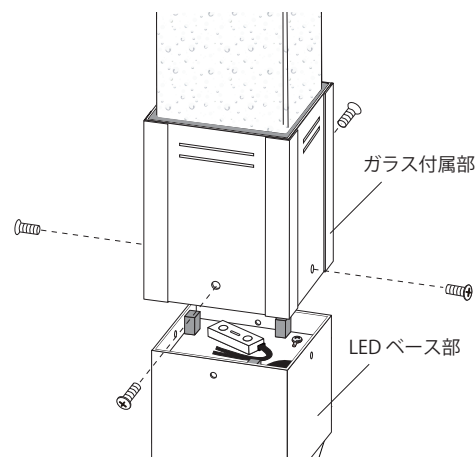


（平面図）

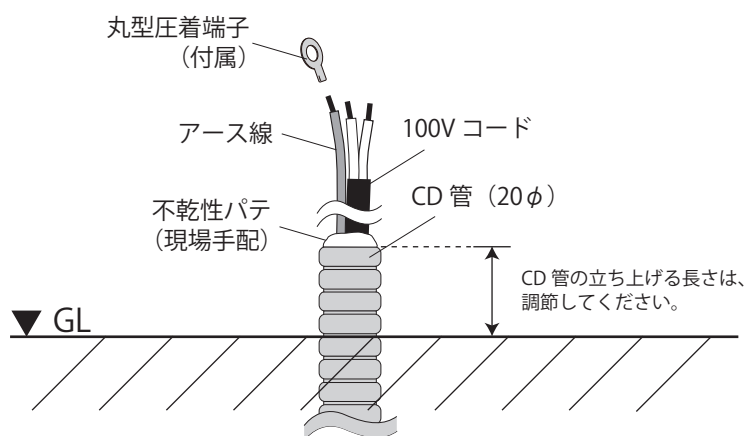
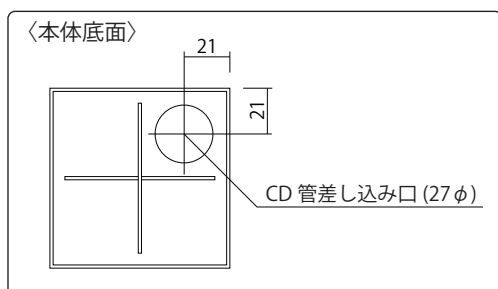


# 施工方法

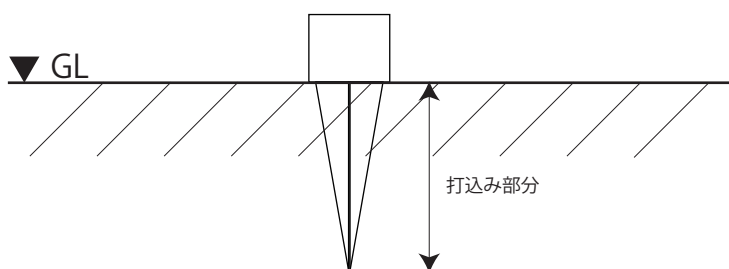
- 1** ビスを外し、ガラス付属部とLED ベース部を外します。



- 2** 取付場所に CD 管を敷設します。通線ワイヤー等を使用し、100V コードとアース線を引き込んで下さい。付属の丸型圧着端子をアース線に取付けてください。CD 管口を不乾性パテで塞ぎます。このとき、コードの長さに余裕を持たせて下さい。



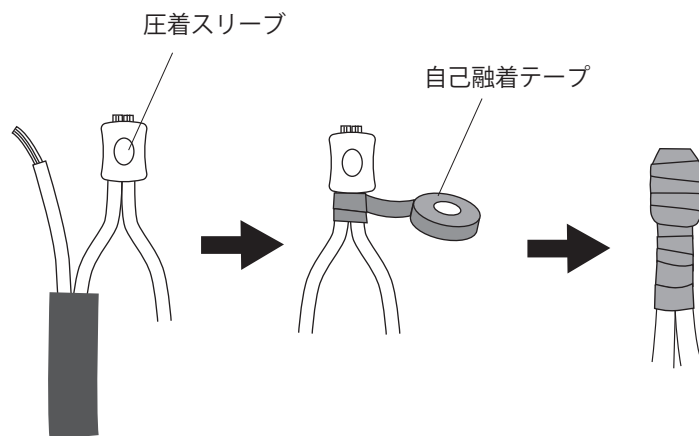
- 3** 打込み部ををすべて地面に打込みます。  
※打込み部分が少ないと転倒しやすくなります



4

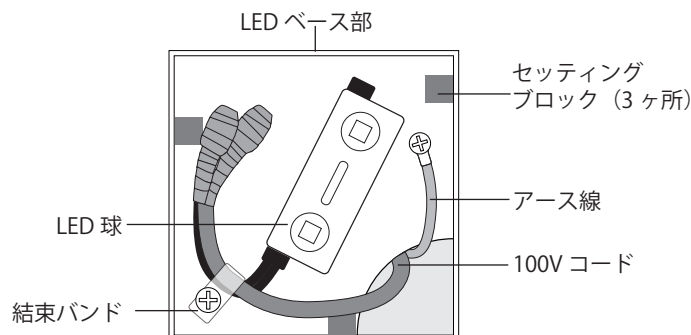
100V ケーブルと結線します。  
LED 球から出た線と 100V コードを接続し、  
圧着スリーブなどでかしまてください。  
圧着箇所、自己融着テープ等を巻きつけ、  
確実に防水・絶縁処理を行ってください。  
アース線はナットでビスに固定します。

※アース工事は電気設備技術基準の  
D 種接地工事に従って作業してください  
※必ずアース線を接続してください。  
アース線の接続が不完全な場合、  
感電の原因となります。



5

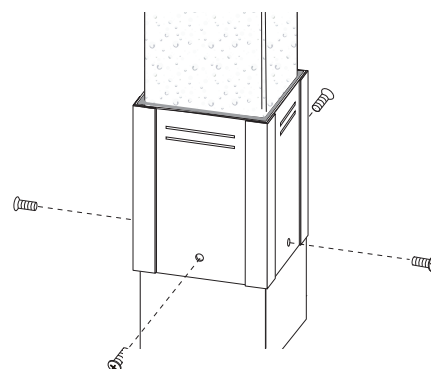
100V コードを結束バンドで固定し、  
結線部は LED ベース内に収めて下さい。  
LED 球の裏面に両面テープが貼ってありますので、  
剥離紙を剥がし、LED ベースに貼り付けて  
ください。



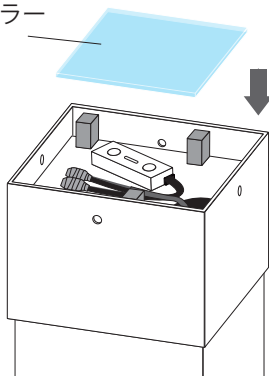
6

ガラス付属部と LED ベース部をビスで  
取り付けます。

※本製品はスイッチ等の制御部材は付属しておりません。  
制御部材は別途ご用意いただき、点灯確認を  
お願い致します。



スタンドカラー  
フィルター



### オプション スタンドカラーフィルター 取付方法

- (1) スタンドカラーフィルターを中央に置きます。
- (2) ガラス付属部を本体に差し込み、ビス（4ヶ所）で固定して下さい。

※スタンドカラーフィルターを破損しないよう御注意下さい。

### お手入れについて

本製品に使用しておりますステンレスは特に錆びにくい SUS304 を使用しておりますが、使用状況や、取付場所の環境によって  
もらい錆が発生する可能性があります。海岸沿い等の住環境での塩分、油脂、土埃中の鉄粉を含む雨水等がステンレス部に  
付着し、そのまま長時間放置されますと、もらい錆の原因となります。  
汚れが付着した場合は、中性洗剤でお手入れし、最後は必ずきれいな水で洗い流し、乾いたやわらかい布で拭いてください。  
こまめなお手入れをすることでサビの発生を防ぐことができます。

### 破棄について

ご不要になった商品は、各地域のルールに従って正しく処分してください。